



JAL不当解雇撤回ニュース

No545号 2017.09.18
発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局
連絡先: 航空労組連絡会事務局
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4
フェニックスビル内
TEL: 03-3742-3251 FAX: 03-5737-7819
<http://www.jalkaikotekkai.com>

第61回国鉄うたごえ祭典 in えひめ

合唱団フェニックスが連帯の合唱!

闘う仲間と連帯! 歌が心をつなぐ



9月10日

61年の歴史を誇る国鉄うたごえ祭典、今年は、9月9日・10日に愛媛県の松山市民会館で行われました。国鉄労働者が安心安全な国民の足を守ろうと歌い繋げてきた祭典です。

合唱団フェニックスも大音楽会(10日)に出演し2曲を熱唱しました。また、大阪と愛媛の原告も加わり、全国の国鉄合唱団の皆さんと6曲を合同合唱しました。鉄道と空、共に安全を守る労働者が渾身の力を込めて歌いあげました。～連帯の翼が高く輝きました～

国鉄分割民営化に伴う不当解雇と闘い続けてきた皆さんから、「今度はJALの闘いを皆で応援しよう」と大きなエールが送られました。450名の聴衆の皆さんから、感動の拍手が場内に響きわたりました。



大阪と愛媛の原告4人も、合同合唱に向けて、地域の国鉄合唱団と共にそれぞれ練習をし、当日の本番に臨みました。(写真上)

高田龍治先生の指揮で、「若者たち」と「みどりの拍手」の2曲を熱唱する合唱団フェニックス。会場からは「頑張れよ」の声かけられました。

愛媛・大阪・東京の原告が、力合わせて成功させた うたごえと学習の集い

9・9
松山市民会館

10日の国鉄うたごえ祭典の前日9日には、1部で、合唱団フェニックスのミニコンサートが開かれ、長い闘いへの思いが合唱劇で表現されました。2部では、パイロットの山口団長が「民間航空と憲法9条」と題して講演を行いました。参加した60名の方々から、感動と励ましの感想が寄せられました。夕方からは、翌日の国鉄うたごえ祭典の全体練習に参加し、夜は前夜祭さながら、国鉄合唱団の皆さんと総勢80名で交流を深めました。

つどいの成功には、愛媛音楽センターの林社長と上田氏、また支える会事務局長の重見氏や世話人の滝沢氏の御尽力、そして企画・準備・当日の進行にあたった愛媛在住の原告の大きな力がありました。

★第1部 ミニコンサート

カーペットを敷きつめた能舞台上、歌と語りの合唱劇で6曲を披露。写真は愛媛・大阪の原告と一緒に「あの空へ帰ろう」を歌う合唱団フェニックス。

愛媛在住の二人の原告が手にしているのは、愛媛一般労働組合の近藤委員長の手作り横断幕です。



★第2部 学習会



「民間航空と憲法9条」～日本の空は米軍大国～と題して、乗員原告の山口団長による講演がありました。「秘密保護法」「戦争法」「共謀罪」成立が空の安全を脅かす。そのためにも憲法を守り抜くことが大切。立場の違いを超えて共同して闘おうとのお話でした。ご自身の体験談や飛行機の豆知識も交えた面白いお話で、1時間があっという間に過ぎました。

「つどい」を通して、より団結を深めた愛媛・大阪・東京の原告

成功裏に終わった「うたごえと学習会のつどい」。ほっとした原告が、松山城をバックに笑顔とガッツポーズ。愛媛・大阪・東京に住む原告が、この日のために準備をし、松山に集結。より団結を深める事が出来ました。

